高知学園短期大学
学生募集要項
2025

幼児保育学科／歯科衛生学科／看護学科
専攻科地域看護学専攻

令和7年度

新たな「知」のトビラを。
NEXT
シンカする大学。

交通のご案内

- 高知自動車道「伊野 IC」より車で約15分
- JR土讃線「旭駅」より約0.7km
- とさでん交通「旭駅前電停」より約1km
- 高知龍馬空港から「はりまや橋」、「高知駅」まで空港連絡バスで約30分

学校法人高知学園
高知学園短期大学
KOCHI GAKUEN COLLEGE

〒780-0955 高知県高知市旭天神町 292-26
TEL 088-840-1121(代)

入試専用連絡先
E-mail nyushi@kochi-gc.ac.jp

TEL 088-840-1664
FAX 088-840-1231

https://kochi-gc.ac.jp/
高知学園短期大学

新たな「知」のトビラを。

NEXT

シンカする大学。

OPEN CAMPUS

見て、聞いて、ふれて、体感して、確かめる。

オープンキャンパス

❶令和6年 6月 15日㊏ 午前の部 9:30～ 午後の部 13:00～

❷令和6年 7月 21日㊐ 午前の部 9:30～ 午後の部 13:00～

❸令和6年 8月 17日㊏ 午前の部 9:30～ 午後の部 13:00～

❹令和6年 9月 8日㊐ 午前の部 9:30～ 午後の部 13:00～

❺令和7年 3月 24日㊊ 午前の部 9:30～

※午前と午後の部は同一プログラムになります。
※参加希望の方は、本学ホームページにて事前予約をしてください。

出願上の注意（各選考共通）

⚠ **以下のことに注意して出願してください。**

(1) 出願書類の持参受付は、午前9時から午後5時までとし、土曜日、日曜日、祝日、学園記念日（1月23日㊍）は受付しておりません。
(2) 出願書類の郵送受付は、出願期限日の消印有効とします。
(3) 出願書類の受付は、郵送または直接持参してください。
(4) 一度受理した入学願書の志望変更は認めません。
(5) 一度受理した書類及び検定料は返還いたしません。

入試関係問合せ先

高知学園大学　高知学園短期大学
学生支援課

（入試専用） TEL. 088-840-1664
FAX. 088-840-1231

E-mail　nyushi@kochi-gc.ac.jp

〒780-0955　高知県高知市旭天神町292-26

CONTENTS

目次

令和7年度　学生募集要項

4P —— 修業年限・定員・資格
試験の種類及び募集人員
5P —— 令和7年度入学試験日程
令和7年度社会人入学試験日程
6P —— 総合型選抜入学試験A
8P —— 学校推薦型選抜入学試験（指定校制）
10P —— 学校推薦型選抜入学試験（公募制）
12P —— 総合型選抜入学試験B
14P —— 一般選抜入学試験A
16P —— 一般選抜入学試験B
18P —— 社会人入学試験
20P —— 外国人留学生入学試験
個別の入学資格審査について
21P —— 学納金・諸費
学費支援制度

令和7年度　専攻科 学生募集要項

22P —— 学納金・諸費
23P —— 学費支援制度
24P —— 専攻科地域看護学専攻入学試験

高知学園短期大学が定める学習成果と方針

26P —— 高知学園短期大学の学習成果と方針
27P —— 幼児保育学科の学習成果と方針
28P —— 歯科衛生学科の学習成果と方針
29P —— 看護学科の学習成果と方針
30P —— 専攻科地域看護学専攻の学習成果と方針

修業年限・定員・資格

学 科	修業年限	定 員	資格・免許等
幼児保育学科	2年	80	短期大学士（幼児保育学） 幼稚園教諭二種免許状、保育士資格 保育教諭
歯科衛生学科	3年	40	短期大学士（歯科衛生学） 歯科衛生士国家試験受験資格
看 護 学 科	3年	60	短期大学士（看護学） 看護師国家試験受験資格 養護教諭二種免許状

試験の種類及び募集人員

学 科	試験の種類及び募集人員（名）					
	総合型選抜 入学試験A	学校推薦型選抜 入学試験（指定校制）	学校推薦型選抜 入学試験（公募制）	総合型選抜 入学試験B	一般選抜 入学試験A・B	計
幼児保育学科	20	36	16	若干名	8	80
歯科衛生学科	8	16	8	4	4	40
看 護 学 科	9	27	18	若干名	6	60
計	37	79	42	4	18	180

※一般選抜入学試験Bの募集人員は若干名

令和7年度入学試験日程

試験の種類		出願期間（消印有効）	選考期日	合格発表日	詳細ページ
総合型 選抜入学試験A	本学会場	令和6年 9月 2 日(月)～ 9月27日(金)	10月 5日(土)	11月 1日(金)	P6-7
	岡山会場		10月12日(土)		
	大阪会場		10月 13日(日)		
学校推薦型選抜入学試験 （指定校制）		令和6年10月21日(月)～11月 1 日(金)	11月 9日(土)	12月 2日(月)	P8-9
学校推薦型選抜入学試験 （公募制）		令和6年11月 5 日(火)～11月15日(金)	11月23日(土)	12月 2日(月)	P10-11
総合型選抜入学試験B		令和6年11月25日(月)～12月 6 日(金)	12月 14日(土)	12月18日(水)	P12-13
一般選抜入学試験A		令和7年 1月20日(月)～ 1月31日(金)	2月 8日(土)	2月19日(水)	P14-15
一般選抜入学試験B		令和7年 2月17日(月)～ 2月28日(金)	3月 8日(土)	3月12日(水)	P16-17

令和7年度社会人入学試験日程

試験の種類	出願期間（消印有効）	選考期日	合格発表日	詳細ページ
社会人入学試験 （一次）	令和6年 9月17日(火)～9月27日(金)	10月 5日(土)	10月 9日(水)	P18-19
社会人入学試験 （二次）	令和7年 1月20日(月)～1月31日(金)	2月 8日(土)	2月19日(水)	
社会人入学試験 （三次）	令和7年 2月17日(月)～2月28日(金)	3月 8日(土)	3月12日(水)	

総合型選抜入学試験A

1. 出願資格

下記の①②のすべてに該当する者

① 高等学校もしくは中等教育学校を令和7年3月卒業見込の者

② 本学進学を専願とし、入学を希望する学科において、自ら目標を持って
主体的に学習に取り組む意欲のある者

2. 選考方法

大学入学希望理由書・書類審査（調査書）・面接の結果により選考します。

学科	試験会場	受付	面接
幼児保育学科 歯科衛生学科 看護学科	本学会場	8:50～9:20	9:30～
	岡山会場	13:20～13:50	14:00～
	大阪会場	8:50～9:20	9:30～

3. 出願手続

本学所定の封筒を使用し、下記の書類に入学検定料28,000円（郵便為替）を添え、本学事務局あてに郵送または直接持参してください。（持参する場合、検定料は現金でも受付けます。）

①大学入学希望理由書	本学所定の用紙に志願者本人が記入する。（ペン書き[黒]）
②入学願書・受験票	本学所定の用紙（総合型選抜入学試験用）を使用。⑥の写真を貼付。 Webでの出願も受付ます。詳しくはホームページをご覧ください。
③調査書	出身高等学校長作成。（3ヶ月以内に発行されたもの）
④受験票返信用封筒	本学所定の封筒に出願者の住所、氏名を明記し、規定の速達郵便料金の 切手を貼付すること。（持参する場合、切手は不要）
⑤宛名シール	選考結果通知の送付先を記入すること。
⑥写真	②の願書・受験票用。2枚。（同一のものを2枚使用すること） 正面上半身タテ4.0㎝×ヨコ3.0㎝。3ヵ月以内に撮影したもの。

4. 出願期間・選考期日

出願期間――令和6年 9月2日(月)～令和6年 9月27日(金)※消印有効

選考期日――本学会場：令和6年10月5日(土)

岡山会場：令和6年10月12日(土)

試験会場　岡山県岡山市北区桑田町3-10　岡山シティホテル桑田町別館
TEL 086-221-0001

大阪会場：令和6年10月13日(日)

試験会場　大阪府大阪市北区梅田1丁目11-4 大阪駅前第4ビル23F
TEL 06-6136-6186

5. 合格発表

合格発表日…令和6年11月 1日(金)

選考結果については、受験者全員に郵送で通知します。（合格発表日に発送。場所によっては、当日届かない場合があります。翌日午後になっても届かない場合はご連絡ください。）

6. 入学手続

1. 入学金納入期間	令和6年11月 5日(火)～令和6年11月25日(月)
2. 前期学納金及び、その他納入金納入期間	令和6年11月 5日(火)～令和6年12月 9日(月) ※1・2 それぞれ期間中に納入しなかった場合は、合格を取り消すことがあります。なお、一旦納入された納入金は返還いたしません。
3. 書類提出期限	令和7年3月5日(水) ※合格者は、合格通知書とともに送付する「合格者注意事項」に従い、入学手続書類（誓約書等）を提出用封筒に入れ期限までに提出してください。

学校推薦型選抜入学試験（指定校制）

1. 出願資格

下記の①②③のすべてに該当する者

①本学が指定した高等学校もしくは中等教育学校において、学校長に推薦された者

②高等学校もしくは中等教育学校を令和7年3月卒業見込の者で、
本学進学を専願とする者

③調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者

2. 選考方法

書類審査（調査書）・面接の結果により選考します。

学科	受付	面接
幼児保育学科 歯科衛生学科 看護学科	8:50～9:20	9:30～

3. 出願手続

本学所定の封筒を使用し、下記の書類に入学検定料28,000円（郵便為替）を添え、本学事務局あてに郵送または直接持参してください。（持参する場合、検定料は現金でも受付けます。）

※今年度の総合型選抜入学試験Aを受験した方が、学校推薦型選抜入学試験（指定校制）を受験する場合の入学検定料は14,000円となります。

①推薦書	出身学校長の推薦書。本学所定の用紙【学校推薦型選抜入学試験（指定校制）】を使用。
②入学願書・受験票	本学所定の用紙【学校推薦型選抜入学試験（指定校制）用】を使用。⑥の写真を貼付。 Webでの出願も受付ます。詳しくはホームページをご覧ください。
③調査書	出身高等学校長作成。（3ヶ月以内に発行されたもの）
④受験票返信用封筒	本学所定の封筒に出願者の住所、氏名を明記し、規定の速達郵便料金の 切手を貼付すること。（持参する場合、切手は不要）
⑤宛名シール	選考結果通知の送付先を記入すること。
⑥写真	②の願書・受験票用。2枚。（同一のものを2枚使用すること） 正面上半身タテ4.0㎝×ヨコ3.0㎝。3ヵ月以内に撮影したもの。

4.出願期間・選考期日

出願期間…令和6年10月21日(月)～令和6年11月1日(金)　※消印有効

選考期日…令和6年11月9日(土)

5.合格発表

合格発表日…令和6年12月2日(月)

※選考結果については、受験者全員に郵送で通知します。（合格発表日に発送。場所によっては、
当日届かない場合があります。翌日午後になっても届かない場合はご連絡ください。）

6.入学手続

1. 入学金納入期間　令和6年12月3日(火)～令和6年12月23日(月)

2. 前期学納金及び、その他納入金納入期間　令和6年12月3日(火)～令和7年1月6日(月)

※1・2 それぞれ期間中に納入しなかった場合は、合格を取り消すことがあります。
なお、一旦納入された納入金は返還いたしません。

3. 書類提出期限　令和7年3月5日(水)

学校推薦型選抜入学試験（公募制）

1. 出願資格

下記の①②のすべてに該当する者

① 高等学校もしくは中等教育学校を令和4年3月以降卒業した者または
　令和7年3月卒業見込の者で出身学校長が適当と認め推薦する者
② 調査書の全体の学習成績の状況が3.0以上の者

2. 選考方法

書類審査（調査書）・基礎学力検査・面接の結果により選考します。

学科	受付	諸注意	基礎学力検査 （1科目9:30~10:20）	面接 （10:40~）
幼児保育学科	8:30 ~ 9:10	9:15 ~ 9:20	国語（古文・漢文を除く）、 英語、化学基礎、生物基礎、 数学Iのうちから 1科目選択	面接
歯科衛生学科				
看護学科				

3. 第２志望

第１志望と異なる学科を第２志望とすることができます。

●第2志望学科においても面接を受けていただきます。

4. 出願手続

本学所定の封筒を使用し、下記の書類に入学検定料28,000円（郵便為替）を添え、本学事務局あてに郵送または直接持参してください。（持参する場合、検定料は現金でも受付けます。）

※今年度の総合型選抜入学試験A・学校推薦型選抜入学試験（指定校制）を受験した方が、学校推薦型選抜入学試験（公募制）を受験する場合の入学検定料は、14,000円となります。

①推薦書	出身学校長の推薦書。本学所定の用紙【学校推薦型選抜入学試験（公募制）用】を使用。
②入学願書・受験票	本学所定の用紙【学校推薦型選抜入学試験（公募制）用】を使用。⑥の写真を貼付。 Webでの出願も受付ます。詳しくはホームページをご覧ください。
③調査書	出身高等学校長作成。（3ヶ月以内に発行されたもの）
④受験票返信用封筒	本学所定の封筒に出願者の住所、氏名を明記し、規定の速達郵便料金の 切手を貼付すること。（持参する場合、切手は不要）
⑤宛名シール	選考結果通知の送付先を記入すること。
⑥写真	②の願書・受験票用。2枚。（同一のものを2枚使用すること） 正面上半身タテ4.0㎝×ヨコ3.0㎝。3ヵ月以内に撮影したもの。

※氏名が変わっている場合は、それを証明できるものを提出してください。

4. 出願期間・選考期日

出願期間…令和６年11月５日㈫～令和６年11月15日㈮　※消印有効

選考期日…令和６年11月23日㈯

5. 合格発表

合格発表日…令和６年12月２日㈪

選考結果については、受験者全員に郵送で通知します。（合格発表日に発送。場所によっては、当日届かない場合があります。翌日午後になっても届かない場合はご連絡ください。）

6. 入学手続

1. 入学金納入期間	令和６年12月３日㈫～令和６年12月23日㈪
2. 前期学納金及び、 その他納入金納入期間	令和６年12月３日㈫～令和７年1月６日㈪ ※1・2 それぞれ期間中に納入しなかった場合は、合格を取り消すことがあります。 ※合格者で入学を辞退する場合には、入学金以外の納入金を返還します。 ただし、返還申し出の期限は令和7年3月21日㈮午後5時までとします。
3. 書類提出期限	令和７年3月5日㈬ ※合格者は、合格通知書とともに送付する「合格者注意事項」に従い、 入学手続書類（誓約書等）を提出用封筒に入れ期限までに提出してください。

総合型選抜入学試験B

1. 出願資格

下記の①②のすべてに該当する者

① 高等学校もしくは中等教育学校を令和7年3月卒業見込の者

② 本学進学を専願とし、入学を希望する学科において、自ら目標を持って主体的に学習に取り組む意欲のある者

2. 選考方法

大学入学希望理由書・書類審査（調査書）・面接の結果により選考します。

学科	受付	面接
幼児保育学科 歯科衛生学科 看護学科	8:50～9:20	9:30～

3. 出願手続

本学所定の封筒を使用し、下記の書類に入学検定料28,000円（郵便為替）を添え、本学事務局あてに郵送または直接持参してください。（持参する場合、検定料は現金でも受付けます。）

※今年度の総合型選抜入学試験A・学校推薦型選抜入学試験（指定校制・公募制）を受験した方が、総合型選抜入学試験Bを受験する場合の入学検定料は、14,000円となります。

① 大学入学希望理由書	本学所定の用紙に志願者本人が記入する。（ペン書き［黒］）
② 入学願書・受験票	本学所定の用紙（総合型選抜入学試験用）を使用。⑥の写真を貼付。 Webでの出願も受付ます。詳しくはホームページをご覧ください。
③ 調査書	出身高等学校長作成。（3ヶ月以内に発行されたもの）
④ 受験票返信用封筒	本学所定の封筒に出願者の住所、氏名を明記し、規定の速達郵便料金の切手を貼付すること。（持参する場合、切手は不要）
⑤ 宛名シール	選考結果通知の送付先を記入すること。
⑥ 写真	②の願書・受験票用。2枚。（同一のものを2枚使用すること） 正面上半身タテ4.0㎝×ヨコ3.0㎝。3ヵ月以内に撮影したもの。

4. 出願期間・選考期日

出願期間…令和6年11月25日(月)～令和6年12月6日(金)　※消印有効

選考期日…令和6年12月14日(土)

5. 合格発表

合格発表日…令和6年12月18日(水)

選考結果については、受験者全員に郵送で通知します。（合格発表日に発送。場所によっては、当日届かない場合があります。翌日午後になっても届かない場合はご連絡ください。）

6. 入学手続

1. 入学金納入期間	令和6年12月19日(木)～令和7年1月8日(水)
2. 前期学納金及び、その他納入金納入期間	令和6年12月19日(木)～令和7年1月22日(水) ※1・2 それぞれ期間中に納入しなかった場合は、合格を取り消すことがあります。なお、一旦納入された納入金は返還いたしません。
3. 書類提出期限	令和7年3月5日(水) ※合格者は、合格通知書とともに送付する「合格者注意事項」に従い、入学手続書類（誓約書等）を提出用封筒に入れ期限までに提出してください。

一般選抜入学試験A

1. 出願資格

次のいずれかに該当する者

①高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者、または令和7年3月卒業見込の者
②通常の課程による12年の学校教育を修了した者、または令和7年3月修了見込の者
③外国において学校教育における12年の課程を修了した者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
④文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
⑤専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
⑥文部科学大臣の指定した者
⑦高等学校卒業程度認定試験規則により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者、または令和7年3月までに合格見込の者で、令和7年4月1日時点満18歳以上の者
⑧本学において個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達した者(個別の入学資格審査についてはP.20参照)

2. 選考方法

書類審査(調査書)・学力試験・面接の結果により選考します。

学科	受付	諸注意	学力試験(各50分)		面接	
幼児保育学科	8:30 ～ 9:00	9:05 ～ 9:10	9:20～	国語(古文・漢文を除く)、英語、化学基礎、生物基礎、数学Iのうちから1科目選択	10:30～	面接
歯科衛生学科						
看護学科			9:20～	国語(古文・漢文を除く)、英語、化学基礎、生物基礎、数学Iのうちから1科目選択	11:30～	面接
			10:25～	小論文(800字以内)		

3. 第2志望

第1志望と異なる学科を第2志望とすることができます。

●第2志望学科においても面接を受けていただきます。
●看護学科を第2志望にすることはできません。

4. 出願手続

本学所定の封筒を使用し、下記の書類に入学検定料28,000円(郵便為替)を添え、本学事務局あてに郵送または直接持参してください。(持参する場合、検定料は現金でも受付けます。)

※今年度の総合型選抜入学試験・学校推薦型選抜入学試験(指定校制・公募制)を受験した方が、一般選抜入学試験Aを受験する場合の入学検定料は、14,000円となります。

①入学願書・受験票	本学所定の用紙(一般選抜入学試験A用)を使用。⑤の写真を貼付。 Webでの出願も受付ます。詳しくはホームページをご覧ください。
②調査書	出身高等学校長作成。(3ヶ月以内に発行されたもの) ※注1 ※調査書の発行がされない場合は、「卒業証明書」と「成績証明書(発行されない場合は、その旨を記した証明書)」を提出してください。
③受験票返信用封筒	本学所定の封筒に出願者の住所、氏名を明記し、規定の速達郵便料金の切手を貼付すること。(持参する場合、切手は不要)
④宛名シール	選考結果通知の送付先を記入すること。
⑤写真	①の願書・受験票用。2枚。(同一のものを2枚使用すること) 正面上半身タテ4.0㎝×ヨコ3.0㎝。3ヵ月以内に撮影したもの。

※注1. 出願資格⑦(高等学校卒業程度認定試験合格者または合格見込者)による出願者への注意事項
②調査書については提出の必要はありませんが、文部科学省の発行する「合格成績証明書」または「合格見込成績証明書」を提出してください。
※氏名が変わっている場合は、それを証明できるものを提出してください。

5. 出願期間・選考期日

出願期間…令和7年1月20日(月)～令和7年1月31日(金)　※消印有効

選考期日…令和7年2月8日(土)

6. 合格発表

合格発表日…令和7年2月19日(水)

選考結果については、受験者全員に郵送で通知します。(合格発表日に発送。場所によっては、当日届かない場合があります。翌日午後になっても届かない場合はご連絡ください。)

7. 入学手続

1. 入学金納入期間　**令和7年2月20日(木)～令和7年3月12日(水)**

2. 前期学納金及び、その他納入金納入期間　**令和7年2月20日(木)～令和7年3月21日(金)**

※1・2 それぞれ期間中に納入しなかった場合は、合格を取り消すことがあります。
※合格者で入学を辞退する場合には、入学金以外の納入金を返還します。ただし、返還申し出の期限は令和7年3月21日(金)午後5時までとします。

3. 書類提出期限　**令和7年3月5日(水)**

※合格者は、合格通知書とともに送付する「合格者注意事項」に従い、入学手続書類(誓約書等)を提出用封筒に入れ期限までに提出してください。

一般選抜入学試験B

1.出願資格

次のいずれかに該当する者

① 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者、または令和7年3月卒業見込の者
② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者、または令和7年3月修了見込の者
③ 外国において学校教育における12年の課程を修了した者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
⑤ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
⑥ 文部科学大臣の指定した者
⑦ 高等学校卒業程度認定試験規則により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者、または令和7年3月までに合格見込の者で、令和7年4月1日時点満18歳以上の者
⑧ 本学において個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達した者（個別の入学資格審査についてはP.20参照）

2.選考方法

書類審査（調査書）・小論文（800字以内）・面接の結果により選考します。

学科	受付	諸注意	小論文	面接
幼児保育学科 歯科衛生学科 看護学科	8:30～9:00	9:10～	9:20～10:50	11:10～

3.第2志望

第1志望と異なる学科を第2志望とすることができます。

※第2志望学科においても面接を受けていただきます。

4.出願手続

本学所定の封筒を使用し、下記の書類に入学検定料28,000円（郵便為替）を添え、本学事務局あてに郵送または直接持参してください。（持参する場合、検定料は現金でも受付けます。）

※今年度の総合型選抜入学試験・学校推薦型選抜入学試験（指定校制・公募制）・一般選抜入学試験Aを受験した方が、一般選抜入学試験Bを受験する場合の入学検定料は、14,000円となります。

① 入学願書・受験票	本学所定の用紙（一般選抜入学試験B用）を使用。⑤の写真を貼付。 Webでの出願も受付ます。詳しくはホームページをご覧ください。
② 調査書	出身高等学校長作成。（3ヶ月以内に発行されたもの） ※注1 ※調査書の発行がされない場合は、「卒業証明書」と「成績証明書（発行されない場合は、その旨を記した証明書）」を提出してください。
③ 受験票返信用封筒	本学所定の封筒に出願者の住所、氏名を明記し、規定の速達郵便料金の切手を貼付すること。（持参する場合、切手は不要）
④ 宛名シール	選考結果通知の送付先を記入すること。
⑤ 写真	①の願書・受験票用。2枚。（同一のものを2枚使用すること） 正面上半身タテ4.0㎝×ヨコ3.0㎝。3ヵ月以内に撮影したもの。

※注 1.　出願資格⑦（高等学校卒業程度認定試験合格者または合格見込者）による出願者への注意事項
②調査書については提出の必要はありませんが、文部科学省の発行する「合格成績証明書」または「合格見込成績証明書」を提出してください。
※氏名が変わっている場合は、それを証明できるものを提出してください。

4.出願期間・選考期日

出願期間…令和7年2月17日㈪～令和7年2月28日㈮　※消印有効
選考期日…令和7年3月 8日㈯

5.合格発表

合格発表日…令和7年3月12日㈬

選考結果については、受験者全員に郵送で通知します。（合格発表日に発送。場所によっては、当日届かない場合があります。翌日午後になっても届かない場合はご連絡ください。）

6.入学手続

1. 入学金納入期間	**令和7年3月13日㈭～令和7年3月21日㈮**
2. 前期学納金及び、その他納入金納入期間	**令和7年3月13日㈭～令和7年3月21日㈮** ※1・2 それぞれ期間中に納入しなかった場合は、合格を取り消すことがあります。 ※合格者で入学を辞退する場合には、入学金以外の納入金を返還します。ただし、返還申し出の期限は令和7年3月21日㈮午後5時までとします。
3. 書類提出期限	**令和7年3月21日㈮** ※合格者は、合格通知書とともに送付する「合格者注意事項」に従い、入学手続書類（誓約書等）を提出用封筒に入れ期限までに提出してください。

社会人入学試験

1.募集学科・募集人員

各学科とも若干名

2.出願資格

① 高等学校・中等教育学校卒業または同等以上の学力があると認められた者で、
　本学進学を専願とする者
② 有職者（アルバイト含む）等

3.選考方法

書類審査（調査書）・小論文（800字以内・90分）・面接の結果により選考します。

4.出願手続

本学所定の封筒を使用し、下記の書類に入学検定料28,000円（郵便為替）を添え、本学事務局あてに郵送または直接持参してください。（持参する場合、検定料は現金でも受付けます。）

※今年度の入学試験を受験した方が、再受験をする場合の入学検定料は、14,000円となります。

① 入学願書・受験票	本学所定の用紙（社会人入学試験用）を使用。⑥の写真を貼付。 Webでの出願も受付ます。詳しくはホームページをご覧ください。
② 調査書	出身高等学校長作成。（3ヶ月以内に発行されたもの） ※高等学校卒業程度認定試験合格者または合格見込者は 「合格成績証明書」または「合格見込成績証明書」を提出してください。 ※調査書の発行がされない場合は、「卒業証明書」と「成績証明書（発行されない場合は、 その旨を記した証明書）」を提出してください。
③ 履歴書	市販の横書き履歴書。（写真貼付不要） ※職歴（アルバイト含む）の記載をすること。
④ 受験票返信用封筒	本学所定の封筒に出願者の住所、氏名を明記し、規定の速達郵便料金の 切手を貼付すること。（持参する場合、切手は不要）
⑤ 宛名シール	選考結果通知の送付先を記入すること。
⑥ 写真	①の願書・受験票用。2枚。（同一のものを2枚使用すること） 正面上半身タテ4.0㎝×ヨコ3.0㎝。3ヵ月以内に撮影したもの。

※氏名が変わっている場合は、それを証明できるものを提出してください。

5.出願期間・選考期日

種 別	出願期間	選考期日
社会人入学試験（一次）	令和6年9月17日㈫～ 9月27日㈮	令和6年10月5日㈯
〃 （二次）	令和7年1月20日㈪～ 1月31日㈮	令和7年 2月8日㈯
〃 （三次）	令和7年2月17日㈪～ 2月28日㈮	令和7年 3月8日㈯

6.合格発表

種 別	合格発表日
社会人入学試験（一次）	令和6年10月 9日㈬
〃 （二次）	令和7年 2月19日㈬
〃 （三次）	令和7年 3月12日㈬

選考結果については、受験者全員に郵送で通知します。（合格発表日に発送。場所によっては、当日届かない場合があります。翌日午後になっても届かない場合はご連絡ください。）

7.入学手続

1.諸納金納入期間

種 別	入学金納入期間	前期学納金及び、その他納入金納入期間
社会人入学試験（一次）	令和6年10月10日㈭～10月30日㈬	令和6年10月10日㈭～11月13日㈬
〃 （二次）	令和7年 2月20日㈭～ 3月12日㈬	令和7年 2月13日㈭～3月21日㈮
〃 （三次）	令和7年 3月13日㈭～ 3月21日㈮	令和7年 3月13日㈭～3月21日㈮

※期間中に納入しなかった場合は、合格を取り消すことがあります。
　なお、一旦納入された納入金は返還いたしません。

2. 書類提出期限

種 別	書類提出期限
社会人入学試験（一次）	令和7年3月 5日㈬
〃 （二次）	
〃 （三次）	令和7年3月21日㈮

※合格者は、合格通知書とともに送付する「合格者注意事項」に従い、入学手続書類（誓約書等）を提出用封筒に入れ期限までに提出してください。

Webでの出願も受付ます。詳しくはホームページをご覧ください。

外国人留学生入学試験

1.募集学科・募集人員　各学科とも若干名

2.出願資格　外国人で、国内外で12年の学校教育を受けた者、あるいは同等以上の学力があると認められた者、日本語能力試験N2レベル以上であること

3.選考方法　書類審査（調査書）・作文（800字以内・90分）・面接の結果により選考します。

4.出願手続

本学所定の封筒を使用し、下記の書類に入学検定料28,000円（郵便為替）を添え、本学事務局あてに郵送または持参してください。（持参する場合、検定料は現金でも受付けます。）

①入学願書・受験票	本学所定の用紙（外国人留学生入学試験用）を使用。⑩の写真を貼付。 Webでの出願も受付ます。詳しくはホームページをご覧ください。
②自筆履歴書	小学校卒業以降の学歴および職歴を記載した日本文のもの。
③推薦書	出身学校長、あるいはそれに準ずる者からの推薦書。
④成績証明書または調査書	最終出身学校のもの。日本語または英語で発行されたもの。 それ以外の言語で記されている場合は、英語の訳文を添付すること。
⑤日本語能力試験結果	日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書を発行してもらってください。
⑥卒業証明書	最終出身学校のもの。 （見込証明書の場合は、後で卒業（修了）証明書の提出を必要とする）
⑦在留カードの写し	在留カード両面の写し。
⑧受験票返信用封筒	本学所定の封筒に出願者の住所、氏名を明記し、規定の速達郵便料金の切手を貼付すること。（持参する場合、切手は不要）
⑨宛名シール	選考結果通知の送付先を記入すること。
⑩写真	①の願書・受験票用。2枚。（同一のものを2枚使用すること） 正面上半身タテ4.0㎝×ヨコ3.0㎝。3ヵ月以内に撮影したもの。

5.その他

※出願は随時受け付けます。出願希望者は本学学生支援課に連絡してください。
※選考日、合格発表、入学手続については、出願者に個別に連絡いたします。
（選考結果については選考日より1週間以内に受験者に通知いたします）

個別の入学資格審査について

学校教育法施行規則第150条第7号（大学において、個別の入学資格審査により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達した者）により出願する者については、事前に個別の入学資格審査を受け、入学資格を認められた場合に限り出願が認められます。主な要領は次のとおりです。

1. 対象者：大学において個別の入学資格審査を要する者。
2. 大学入学時に18歳に達する者で、次のいずれかに該当する場合とする。
   （1）高等学校に相当する教育施設で3年以上の学習または社会での実務経験を有する者であること。
   （2）日本の大学で、科目等履修生として在籍中、又は在籍した者であること。
   （3）その他、高等学校卒業と同等以上の学力を有すると認められる者であること。
3. 一般選抜入学試験Aまたは一般選抜入学試験Bの出願開始日の1ヶ月前までに申請してください。
4. 審査結果は各入学試験の出願開始日の1週間前までに、本人連絡先に連絡いたします。
   個別の入学資格審査についての詳細は、本学学生支援課にご連絡ください。

学納金・諸費

学科	幼児保育学科	歯科衛生学科	看護学科
入学金（入学時のみ）	200,000円	200,000円	200,000円

※入学手続時には入学金と期別納入金額のうち、前期分、その他納入金を納入する必要があります。

学科		幼児保育学科	歯科衛生学科	看護学科
期別納入金額	前　期	455,000円	465,000円	490,000円
	後　期	455,000円	465,000円	490,000円
1年間合計		910,000円	930,000円	980,000円
内訳	授業料	770,000円	770,000円	770,000円
	図書費	30,000円	30,000円	30,000円
	実験実習費	110,000円	130,000円	180,000円

※その他納入金……39,000円［後援会費 年額20,000円、保険料（学生総合保障制度）他］

学費支援制度

日本学生支援機構奨学金

給付型

日本学生支援機構の給付奨学金は、国の高等教育における修学支援新制度のひとつとして、意欲と能力のある若者が経済的理由により進学及び修学の継続を断念することのないよう、原則返還義務のない奨学金を支給するものです。

世帯の所得金額に基づく区分に応じて、原則として毎月振り込まれます。
給付奨学金と第一種奨学金を併せて利用する場合、第一種奨学金の貸与月額が調整されます。

	区分	自宅通学	自宅外通学
支給月額	第Ⅰ区分	38,300円（42,500円）	75,800円
	第Ⅱ区分	25,600円（28,400円）	50,600円
	第Ⅲ区分	12,800円（14,200円）	25,300円
	第Ⅳ区分（多子世帯に限る）	9,600円（10,700円）	19,000円

生活保護（扶助の種類を問いません）を受けている生計維持者と同居している人及び児童養護施設等から通学する人等は、上表のカッコ内の金額となります。

授業料等減免（高等教育修学支援新制度）

日本学生支援機構給付奨学金の支給対象の学生は、授業料等の減免も同時に受けることができます。

授業料等減免の上限額（年額）　住民税非課税世帯　約62万円

世帯の所得金額に基づく区分に応じて、減免額が変わります。上限額（年額）の、第1区分：3分の3、第2区分：3分の2、第3区分：3分の1の減免額となります。

貸与型

	第一種奨学金（無利子）		第二種奨学金（利子付）
	（自宅通学）	（自宅外通学）	
貸与月額	5万3千円・4万円・3万円・2万円から選択 ※①	6万円・5万円・4万円・3万円・2万円から選択 ※①	12万円・11万円・10万円・9万円・8万円・7万円・6万円・5万円・4万円・3万円・2万円から選択
利子	無利子		年利3%を上限とする
貸与基準	規定の学力基準・家計基準に則り選考		
返還方法	卒業後、月賦等で返還		
月賦返還額※②	12,230円（月額5万3千円貸与3年の場合）	12,857円（月額6万円貸与3年の場合）	貸与金額、年利により異なる（7,713円～24,222円）
返還回数（年数）	156回（13年）	168回（14年）	貸与金額、期間により異なる（108～240回）（9～20年）

入学時特別増額貸与奨学金　10万円から50万円までの間で10万円単位、入学時の1回限り、有利子。
※①最高月額は併用貸与の家計基準に該当する場合のみ利用できます。
※②月賦返還額の端数は最終回で調整されます。

高知学園短期大学

専攻科
学生募集要項

学納金・諸費

専　攻	地域看護学専攻
入学金（入学時のみ）	50,000 円

※本学卒業生は入学金が免除されます。

専　攻		地域看護学専攻
期別納入金額	前期	490,000円
	後期	490,000円
1 年間合計		980,000円
内訳	授業料	770,000円
	図書費	30,000円
	実験実習費	180,000円

※その他の納入金……39,000 円［後援会費 年額 20,000 円、保険料（学生総合保障制度）他］

学費支援制度

日本学生支援機構奨学金

給付型

日本学生支援機構の給付奨学金は、国の高等教育における修学支援新制度のひとつとして、意欲と能力のある若者が経済的理由により進学及び修学の継続を断念することのないよう、原則返還義務のない奨学金を支給するものです。

世帯の所得金額に基づく区分に応じて、原則として毎月振り込まれます。
給付奨学金と第一種奨学金を併せて利用する場合、第一種奨学金の貸与月額が調整されます。

	区分	自宅通学	自宅外通学
支給月額	第Ⅰ区分	38,300円（42,500円）	75,800円
	第Ⅱ区分	25,600円（28,400円）	50,600円
	第Ⅲ区分	12,800円（14,200円）	25,300円
	第Ⅳ区分（多子世帯に限る）	9,600円（10,700円）	19,000円

生活保護（扶助の種類を問いません）を受けている生計維持者と同居している人及び児童養護施設等から通学する人等は、上表のカッコ内の金額となります。

授業料等減免（高等教育修学支援新制度）

日本学生支援機構給付奨学金の支給対象の学生は、授業料等の減免も同時に受けることができます。

授業料等減免の上限額（年額）　住民税非課税世帯　約62万円

生活保護（扶助の種類を問いません）を受けている生計維持者と同居している人及び児童養護施設等から通学する人等は、上表のカッコ内の金額となります。

貸与型

	第一種奨学金（無利子）		第二種奨学金（利子付）
	（自宅通学）	（自宅外通学）	
貸与月額	5万3千円・4万円・3万円・2万円から選択 ※①	6万円・5万円・4万円・3万円・2万円から選択 ※①	12万円・11万円・10万円・9万円・8万円・7万円・6万円・5万円・4万円・3万円・2万円から選択
利子	無利子		年利3％を上限とする
貸与基準	規定の学力基準・家計基準に則り選考		
返還方法	卒業後、月賦等で返還		
月賦返還額※②	5,888円（月額5万3千円貸与の場合）	6,666円（月額6万円貸与の場合）	貸与金額、年利により異なる（3,695円～11,293円）
返還回数（年数）	108回（9年）	108回（9年）	貸与金額、期間により異なる（72～156回）（6～13年）

入学時特別増額貸与奨学金　10万円から50万円までの間で10万円単位、入学時の1回限り、有利子。
※① 最高月額は併用貸与の家計基準に該当する場合のみ利用できます。
※② 月賦返還額の端数は最終回で調整されます。

専攻科地域看護学専攻入学試験

1. 募集人員

20名
　特別入試（高知学園短期大学看護学科卒業（見込）者）　18名程度
　一般入試（上記以外の者）　　若干名

2. 出願資格

次のいずれかに該当し、本学進学を専願とする者

①大学、短期大学3年課程の看護に関する学科を卒業し、看護師免許を取得している者、
　または令和7年3月卒業見込の者で看護師免許取得見込の者
②看護専門学校※を卒業し、看護師免許を取得している者、または令和7年3月卒業見込及び
　看護師免許取得見込の者、本学において①と同等の学力があると認めた者
③保健師助産師看護師法（昭和23年法律第203号）第21条第5号に規定する、外国の同法第5条に規定する
　業務に関する学校若しくは養成所を卒業し、又は外国において看護師免許に相当する免許を受けた者で、
　厚生労働大臣が同法第21条第1号から第3号までに掲げる者と同等以上の知識及び技能を有すると認めた者

※看護専門学校については以下の2つの条件を満たしていること
i）専門学校の課程は受験者が修了した当時、学校教育法（昭和22年法律第26号）第125条に掲げられた専修学校専門課程
（在学している間に当該課程が専修学校専門課程の認可を受けた場合、当該認定前の課程における修業年限および修了に必要な総授業時間数は、文部科学省の定める基準を満たしている課程）であること。
ii）修業年限が3年以上で、かつ、修了に必要な総授業時間数が2,550単位時間以上（単位制または通信制の学科においては、修了に必要な総単位数が93単位以上）の課程であること。

3. 出願手続

本学所定の封筒を使用し、下記の書類に入学検定料10,000円（郵便為替）を添え、
本学事務局あてに郵送または直接持参してください。
（持参する場合、検定料は現金でも受付けます。）

① 入学願書・受験票	本学所定の用紙を使用。 ⑤の写真を貼付すること。 Webでの出願も受付ます。詳しくはホームページをご覧ください。
② 証明書類	卒業（見込）証明書 成績証明書 看護師免許の写し （卒業見込み等で第113回の看護師国家試験を受験する者は、令和7年3月31日までに国家試験の合格を証する書類の写しを1部提出すること。また、看護師免許取得後は、ただちに写しを1部提出すること） 履歴書（一般入試のみ） 養護教諭二種免許状の写し（養護教諭一種免許取得希望者のみ）
③ 受験票返信用封筒	本学所定の封筒に出願者の住所、氏名を明記し、規定の速達郵便料金の切手を貼付すること。
④ 宛名シール	選考結果通知の送付先を記入すること。
⑤ 写真	①の願書・受験票用。2枚。（同一のものを2枚使用すること） 正面上半身タテ4.0㎝×ヨコ3.0㎝。3ヵ月以内に撮影したもの。

※氏名が変わっている場合は、それを証明できるものを提出してください。

4. 出願期間・選考期日

①出願期間
　特別入試 … 令和６年 ９月17日㈫～令和６年 ９月27日㈮ ※消印有効
　一般入試 … 令和６年11月25日㈪～令和６年12月 ６ 日㈮ ※消印有効
②選考期日
　特別入試 … 令和６年10月 ６日㈰
　一般入試 … 令和６年12月14日㈯

5. 選考方法

特別入試 … 提出書類、小論文及び面接による選考
一般入試 … 提出書類、学力試験（看護学全般）、小論文及び面接により総合的に選考

6. 合格発表

特別入試 … 令和６年10月 ９日㈬
一般入試 … 令和６年12月18日㈬
選考結果については、受験者全員に郵送で通知します。（合格発表日に発送。場所によっては、当日届かない場合があります。翌日午後になっても届かない場合はご連絡ください。）

7. 入学手続

諸納金納入期間
特別入試……令和６年10月10日㈭～令和６年12月25日㈬
一般入試……令和６年12月19日㈭～令和７年 １月 ８日㈬

※合格者は、諸納金納入期間中に入学金及び前期納入金を納入してください。
　納入しなかった場合は、合格を取り消すことがあります。
※一般入試合格者への注意事項…他大学の学部学生（通信大学や放送大学、専門職大学を含む）として現に在学している方は、本学から学位授与の申請をすることができないのでご注意ください。

8. 取得できる資格

学士（看護学）
保健師国家試験受験資格
養護教諭一種免許状（養護教諭二種免許状保有者のみ）
第一種衛生管理者（保健師免許取得後申請）

高知学園短期大学が定める学習成果と方針

高知学園短期大学の学習成果と方針

■教育目的

本学は、教育基本法及び学校教育法の精神に則り、広い教養を授け、専門の職業教育を施すと共によき社会人を育成し、もって人類の福祉と文化の進展に寄与することを目的とする。(高知学園短期大学学則第１条)

■教育基本方針

高知学園の象徴、「世界の鐘」の呼びかける平和と友愛の精神を柱とし、自由と規律を尊び、真理を深め、創造性と情操を培い、広い教養と健全な社会性を身につけた専門的職業人を育成する。(高知学園短期大学の教育目的に関する規程第２条)

■学習成果

高知学園短期大学では、教育目的に基づき、高知学園大学と協働して食・教育・医療を総合的に理解し活用する専門的職業人を育成するため、本学における教育と学習を通じて次の四つの能力を獲得することができる。

⑴専門的職業人として必要な知識と技能を身につけ、その内容と意義を説明することができる。
⑵社会の状況を積極的に受け入れる柔軟な感性を持ち、周囲に広げていくことで、最新の知見を導き出し、適切な判断を下すことができる。
⑶倫理的な観点から専門的知識と技能を活用して考え抜き、自ら行動することができる。
⑷自分の意見を的確に伝えると同時に多様な人々の意見を聴くことによって、相互に理解し尊重しあいながら自分の役割を果たすことができる。

■卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

高知学園短期大学では、本学学生が学習成果を達成して人類の福祉と文化の進展に寄与していくため、本学における教育と学習を通じて以下の能力を獲得した者に短期大学士の学位を授与する。

⑴各学科の専門性における知識や技能を習得し、全学及び各学科の教育目的に合致する資質と能力を獲得した者。
⑵本学が掲げるキャリア形成基礎力の四つの能力「感じ、広げる力」「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」を身につけた者。
⑶人命を預かる責任感と倫理観を有し、世界や地域の動向を理解して専門的知識と技能を活用する実践力を備えた者。
⑷専門的知識や技能を活用し、広い視野から多様な人々と協働し学び続ける力を有する者。

■教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

高知学園短期大学では、平和と友愛の精神を柱とし、自由と規律を尊び、真理を深め、創造性と情操を培い、広い教養と社会性を身につけた専門的職業人を育成するため、以下の方針に基づいて教養教育と専門教育の区分を軸とした教育課程を編成し、質の高い教育を実施する。

⑴人々の健康的な成長と豊かな生活に貢献できる専門的職業人を育成するため、専門的な知識や技能に基づく分野を学科別に設定した専門教育の課程を編成し、生命を預かる責任感と倫理観に基づく総合的・創造的な実践力を段階的に養う教育を実施する。また、食・教育・医療と関連する領域の専門性を尊重しながら学科横断的に協働することを通して、多角的かつ総合的に思考し専門性を高める教育を実施する。
⑵さまざまな問題の原因を探り課題を克服しながら成長できる専門的職業人を育成するため、具体的な授業内容と到達目標及び授業以外で学習すべき内容を明確に示す教育課程を編成し、自ら計画を立てて主体的に学ぶことができる教育を実施する。
⑶高知学園大学との協働を通じて食・教育・医療を総合的に理解し活用することのできる専門的職業人を育成するため、広い視野から思考し実行する教養教育の課程を学科別に編成し、人々のために役立つ責任感と倫理観をもって価値の多様性を知る教育を実施する。
①グローバルな視点から文化を理解し尊重するため、教養教育に「芸術と文化」を基本とする分野を編成し、外国語や文学及び文化の基礎的理解を深める教育を実施する。
②科学的思考に基づき、一つの問題を幅広い視野から考えるため、教養教育に「社会と自然」を基本とする分野を編成し、多様な人々と協働し理解しあえるコミュニケーション能力と情報を収集する力を育む教育を実施する。
③人々の健康を支え、自らが主体性をもって活動に取り組むため、教養教育に「運動と健康」を基本とする分野を編成し、体験を通して健康と運動との関連について理解を深める教育を実施する。
⑷自らの成長と課題を自覚することができる専門的職業人を育成するため、基礎から応用へと段階的に発展する教育課程を編成し、学生自らが新たな目標を定め主体的に学ぶことができる教育を実施する。

以上の方針の下、獲得された学習成果を高知学園短期大学・学習成果査定の方針に基づいて客観的に評価する。

■入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)

高知学園短期大学のいずれの学科に学ぶ学生に共通して身につける能力は、①学びに熱心に取り組むこと、②変化する時代、進歩する技術に敏感に対応すること、③常に挑戦する心を持っていること、④人間関係が円滑に結べることである。そこで、本学では、すべての入学者選抜制度に共通して、以下の準備ができている人を入学者として求めている。

⑴深く学ぶことを求めている人。
⑵自己実現を目指している人。
⑶強い意志を持っている人。
⑷広い心を保ち、高い理想に燃えている人。

以上の人材として、本学のすべての学科では、入学するまでに、次の教科・科目の内容や知識・技能を有していることが望まれる。

国語:基礎的な日本語の読解力、表現力、論理的な思考力
数学:論理的な思考力、数的な処理能力
理科:自然現象に対する科学的な思考力・判断力
地理歴史・公民:変動する社会に対応できる基礎的知識と応用力
外国語:目的に応じた英語文章の読解力と表現力、異文化への理解
情報:情報に関する科学的思考力・判断力、及び情報機器等を正しく活用する基礎力
芸術・保健体育:活動に対する主体性と基礎的な表現力

入学者の選抜にあたっては、入学者選抜制度に基づき、提出書類及び面接等による試験を通じて「平和と友愛の精神を理解し、明確な目標をもって計画的に学び続ける意欲と態度を有すること」、及び思考力、判断力、表現力等を重視した基礎学力検査、知識・技能、論理力、応用力等を重視した学力試験や小論文による試験を通じて「各専門分野に必要な基礎学力を備え、継続して向上に努めること」を総合的に評価し、上記の方針に適した人を選抜する。

入学者選抜の各制度では、特に以下の準備ができている人を重視して選抜を行う。

学校推薦型選抜入学試験(指定校制):面接及び提出書類の評価を通して、幅広い学力と社会性を備え、明確な目標をもって計画的、継続的に学ぶ意欲を有する人を選抜する。

総合型選抜入学試験A・B:自己推薦書や面接及び提出書類の評価を通して、専門分野に対する持続的な強い関心と社会へ貢献する意欲を有する人を選抜する。

学校推薦型選抜入学試験(公募制):基礎学力検査や面接及び提出書類の評価を通して、基本的な判断力、思考力や表現力及び社会性を有する人を選抜する。

一般選抜入学試験A:学力試験や面接及び提出書類の評価を通して、一定の学力と社会性や専門分野への関心、勉学への意欲を有する人を選抜する。

一般選抜入学試験B:小論文や面接及び提出書類の評価を通して、論理力や応用力が豊かな人を選抜する。

社会人入学試験:小論文や面接及び提出書類の評価を通して、一定の学力や社会に対する問題意識と高い関心を有し、社会での経験を有意義に活用することができる人を選抜する。

外国人留学生入学試験:作文や面接及び提出書類の評価を通して、日本語による読解力と会話力を備え、母国と日本の発展に貢献しようとする意欲、及び国際的視野に基づく目標と計画を有する人を選抜する。

■学習成果査定の方針(アセスメント・ポリシー)

Ⅰ学習成果の査定方法
高知学園短期大学(以下「本学」という。)では、卒業認定・学位授与、教育課程編成・実施、入学者受け入れの三つの方針に基づき、機関レベル(短期大学)・教育課程レベル(学科・専攻)・科目レベル(授業科目)の3段階で学習成果を査定する方法を定めている。あわせて、三つの方針の一貫性を確保する。

⑴機関レベル
本学では、学生を対象にした学生生活に関する調査を実施し、その結果に基づいて学習成果の獲得状況を総合的に査定する。さらに、学生の進路決定状況(就職率、免許・資格を活用した専門分野への就業率、及び進学率等)、卒業後の取組状況から学習成果の達成状況を査定する。
⑵教育課程レベル
学科・専攻の所定の教育課程における免許・資格の取得状況、卒業要件達成状況(単位修得状況、GPA)から教育課程全体を通した学習成果の達成状況を査定する。また、学年ごとの単位修得・成績分布の状況、及び学習活動や社会活動への取組状況から、専門的知識・技能を身につけ、最新の知見を導き出し適切な判断を下すとともに、倫理的な観点から考え抜いて自ら行動することができ、かつ多様な人々と相互に理解し尊重しながら自分の役割を果たすことができる能力について、1年次における基礎と応用、2年次以降における定着と実践、及び平和と友愛へ貢献するための資質と能力の獲得状況を学習成果として査定する。
⑶科目レベル
シラバスで提示された授業科目の到達目標に対する評価、及び学生の授業アンケート等の結果から、科目ごとの学習成果の獲得状況及び達成状況を査定する。

幼児保育学科の学習成果と方針

■学習成果

幼児保育学科では、子どもの健やかな成長を育むことで、世界の平和と友愛に貢献できる社会人となるため、次に掲げる能力を獲得する。

⑴子どもたちの集団生活を育む教育・保育に必要な知識と技能を獲得することで、問題を発見し理論的な洞察力で解決することができる。
⑵多様な情報を客観的に理解し社会貢献に向けた適切な判断力と自尊感情を獲得することで、子どもの心身の発達を支援することができる。
⑶愛情に満ちた豊かな人間性を獲得することで、健やかな成長に適した環境を構成することができる。
⑷最新の教育・保育理論を備えた保育の指導計画を立案し実践する能力を獲得することで、保育に関する指導を行うことができる。

■卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

幼児保育学科では、平和と友愛の精神に則り、次に掲げる資質を身につけた者に短期大学士(幼児保育学)の学位を授与する。

⑴保育者に必要な専門的知識及び基本的技能を身につけた者。
⑵多様な視点から現実を深く洞察することで、社会的状況を分析しながら人命を預かる責任感を身につけた者。
⑶子どもの健やかな成長を願う豊かな人間性を身につけた者。
⑷社会の諸問題に対して、子どもの教育・保育に基づいた考えをまとめ、表現し、行動することができる者。

■教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

幼児保育学科では、幼稚園教諭と保育士、保育教諭を養成するための教育課程を基本とし、保育を通して世界の平和と友愛に貢献するために有益な教養教育と専門教育の教育課程を編成し、特に以下に掲げる目標を達成するための教育を実施する。

⑴教育・保育における応用的・実践的な理論・技能への発展性と一貫性を理解する総合的な教育課程を編成することで、保育者として果たす責務を認識し、専門性を向上する教育を実施する。
◉保育の領域について、領域それぞれの学問的背景や基盤となる考え方を学ぶため、「教育及び保育の領域」の分野を編成し、保育内容に基づいて子どもを理解する教育を実施する。
◉教育・保育の理念や子どもの心身の発達に寄与する役割を自覚するため、「教育及び保育の本質・目的・対象の理解」の分野を編成し、子どもの発達に基づいて保育の重要性を考える教育を実施する。
◉教育・保育を通じて育みたい資質・能力を子どもの生活から捉えるため、「教育及び保育の内容・方法」の分野を編成し、子どもの生活の中から幼児保育学の基礎理論や表現技術、指導の方法を身に付ける教育を実施する。
◉食・教育・医療の各専門分野と連携して、子ども理解を深める保育者を養成するため、「総合的専門科目」を編成して、子どもの健康を多様な視点から考え、他の専門分野と学科横断的に連携する教育を実施する。
◉教育・保育の現場で子どもの最善の利益を尊重する姿勢を育てるため教育実習・保育実習の分野を編成し、専門的理論及び技能を正しく活用した保育実践力を養う教育を実施する。
⑵常に教育・保育に関する新しい問題に向かって、原因を究明しながら成長できる専門的職業人を養成するため、授業で学習する内容と授業以外で学習する内容を結びつけて理解を深める教育課程を編成し、子どもの心身の発達を理解し主体的に学ぶことのできる教育を実施する。
◉学習成果を適切にフィードバックする教育を実施するため、学修ポートフォリオを導入して学生が自らの学びをふり返り、目標を立てて達成度を確認できるようにする。
⑶教養教育では、倫理的な責任感に基づいて広い視点から保育の意義を考え実践するための教育を実施する。
◉グローバルな視点から子どもの成長を考え、多様な文化を尊重する保育者を養成するため、教養教育に「芸術と文化」の分野を編成し、外国語や文学及び文化の基礎的理解を深める教育を実施する。
◉科学的思考に基づき、あらゆる問題を幅広い視野から思考できる保育者を養成するため、教養教育に「社会と自然」の分野を編成し、多様な人々と協働し理解しあえるコミュニケーション能力と情報を収集する力を育む教育を実施する。
◉子どもの健康を支え、自らが主体性をもって活動に取り組むため、教養教育に「運動と健康」の分野を編成し、スポーツや体験を通して健康と運動の関連について理解を深めるための教育を実施する。
⑷日常生活におけるさまざまな問題を幼児保育の観点から発見し、問題を積極的に解決しようとする意欲と姿勢を持った専門的職業人を養成するため、基礎から応用・実践へと段階的に発展する教育課程を編成し、学生自ら目標を立てて主体的に取り組む教育を実施する。

以上の方針の下、獲得された学習成果を幼児保育学科・学習成果査定の方針に基づいて客観的に評価する。

■入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)

幼児保育学科では、卒業認定・学位授与の方針にかなうために、①あらゆる教育科目に精一杯取り組む人、②常に模範的な行動と態度を心がける人、③目標を達成するまで絶対にあきらめない人、④人々と協力しあいながら自分自身と仲間の成長を志す人が求められる。そのため、すべての入学者選抜制度に共通して以下の準備ができている人を入学者として求めている。

⑴全般的な基礎学力を有する人。
⑵規律を守る人。
⑶大学生活を最優先に考えた基本的生活習慣を確立している人。
⑷多様な人々とのコミュニケーションを大切にすることができる人。

以上の人材として、幼児保育学科では、入学するまでに、次の教科・科目の内容や知識・技能を有していることが望まれる。

国語:日本語による文章を論理的に正しく読み解き、自分の考えを明確に表現し、的確に伝える力
数学:物事をデータ等に基づいて論理的・客観的に思考できる力
理科:自然現象や環境について客観的に観察し、論理的に思考する力
地理歴史・公民:個人と社会を取り巻く多様な状況と変化を理解し、社会の仕組みに対応していく力
外国語:外国の人々・文化・社会に対する関心と交流に必要な英語の読解、表現、作文、会話に関する基礎的技能
情報:パソコンの基本ソフトを活用する力
音楽:歌唱や器楽による基礎的な音楽の表現力
美術・書道・工芸:作品を鑑賞し、自らの手で構想し創造しながら表現するなど、芸術表現に関わる基本的な能力
保健体育:健康や心身の発達の特徴に関する理解、活動に対して主体的に取り組む姿勢、及び基礎的な運動能力

高知学園短期大学が定める学習成果と方針

入学者の選抜にあたっては、入学者選抜制度に基づき、提出書類や面接等による試験を通じて「幼児保育への関心を抱き、明確な目標をもって計画的かつ継続的に学ぶ意欲と態度を有すること」、及び基礎学力検査や学力試験、実技試験等を通じて「思考力や判断力を中心に、知識や技能、論理力や応用力を含む基礎学力と実技の基礎的な表現力の向上に努めること」を総合的に評価し、上記の方針に適した人を選抜する。

入学者選抜の各制度では、特に以下の準備ができている人を重視して選抜を行う。

学校推薦型選抜入学試験（指定校制）：面接及び提出書類の評価を通して、模範的な学校生活を送り、幅広い学力と表現力、社会性を備え、幼児保育に必要な適性を高めるよう意欲的かつ継続的に努めることができる人を選抜する。

総合型選抜入学試験A・B：大学入学希望理由書や面接及び提出書類の評価を通して、幼児保育の専門性を活かして社会に貢献する意欲と目標を抱き、その実現に向けてたゆまぬ努力をすることができる人を選抜する。

学校推薦型選抜入学試験（公募制）：基礎学力検査や面接及び提出書類の評価を通して、確かな学習習慣を形成し、豊かな表現基礎力を有する人を選抜する。

一般選抜入学試験A：学力試験や面接及び提出書類の評価を通して、保育を実践し記録をまとめるために必要な一定の学力と豊かな表現基礎力を有する人を選抜する。

一般選抜入学試験B：小論文や面接及び提出書類の評価を通して、基礎学力を通した論理力や幼児保育への応用力が豊かな人を選抜する。

社会人入学試験：小論文や面接及び提出書類の評価を通して、一定の学力と社会における経験を有意義に活用して、幼児保育に対する問題意識と高い関心を有し、他の模範となって学び続ける意欲を備えている人を選抜する。

外国人留学生入学試験：作文や面接及び提出書類の評価を通して、日本語による読解力と会話力を備え、幼児保育を通じて母国と日本の発展に貢献しようとする意欲、及び国際的視野に基づく目標と計画を有する人を選抜する。

■学習成果査定の方針（アセスメント・ポリシー）

高知学園短期大学幼児保育学科（以下「本学科」という。）では、卒業認定・学位授与、教育課程編成・実施、入学者受け入れの三つの方針の一貫性を確保するため、機関レベル（短期大学）・教育課程レベル（本学科）・科目レベル（授業科目）の3段階で学習成果を査定する方法を定めている。

⑴機関レベル
本学が実施する学生を対象とした大学生活に関する調査の結果に基づいて、本学科における学習成果の獲得状況を査定する。また、学生の進路決定状況（就職率、免許・資格を活用した専門分野への就業率、及び進学率等）、卒業後の取組状況から学習成果の達成状況を査定する。

⑵教育課程レベル
本学科では、「問題解決」に関する学習成果について、試験及びレポート等における知識と技能の獲得状況に基づいて査定する。「発達支援」に関する学習成果については、試験及びレポートにおける判断力、ポートフォリオにおける自尊感情の獲得状況に基づいて査定する。「環境構成」に関する学習成果については、試験及びレポート、実技等における子どもの健やかな成長を願う人間性の獲得状況に基づいて査定する。「保育指導」に関する学習成果については、試験及びレポート等に加えて実習評価における指導計画の立案と実践に対する獲得状況に基づいて査定する。以上の各能力を、1年次における基礎と応用、2年次における知識と技能の定着や判断力・自尊感情及び人間性の獲得、さらに保育実践力の獲得状況を学習成果として総合的に査定する。また、本学科の所定の教育課程における幼稚園教諭二種免許・保育士資格の取得状況、卒業要件達成状況（単位修得状況、GPA）、及び同窓生を対象にした学習成果に関する調査の結果に基づき、教育課程全体を通した学習成果の達成状況を査定する。

⑶科目レベル
学習成果の査定にあたっては、診断的評価、形成的評価、総括的評価を積極的に行う。特に形成的評価における課題（小テスト、レポート、発表、作品等）の評価は適切にフィードバックを行い、学生が学期を通して理解を深めていくことを心がけて学習成果の獲得状況を査定する。さらに、シラバスで提示された授業科目の到達目標に対する評価、及び学生の授業アンケート等の結果から、科目ごとの学習成果の達成状況を査定する。なお、査定にあたっては「幼児保育学科・学習成果評価のためのルーブリック」及び「幼児保育学科カリキュラム・マップ」を参考にする。

歯科衛生学科の学習成果と方針

■学習成果

歯科衛生学科では、教育目的に基づき、専門的職業人として継続的な口腔衛生管理及び食支援をするため、次に掲げる能力を獲得する。
⑴専門的知識と技能を身につけ思考力・判断力を高めることにより、口腔衛生管理と健康支援をすることができる。
⑵倫理観を持ち、生活背景・人生経験豊かな人たちを敬い傾聴すること、また異文化を理解することにより、さらにコミュニケーション力を身につけることができる。
⑶良好な人間関係を構築し、他職種と協働・連携することにより地域貢献を推進していく主体的な力を持つことができる。
⑷自己研鑽を重ね、情報収集し、課題解決をプレゼンテーションする構成力と表現力を身につけることができる。

■卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

歯科衛生学科では、学習成果に基づき、口腔衛生管理の専門職になるために次に掲げる資質を身につけた者に短期大学士（歯科衛生学）の学位を授与する。
⑴根拠に基づいた全人的観点から継続的な口腔衛生管理及び食支援をすることができる知識と技術を身につけた者。
⑵豊かな人間性と倫理観を持ち、異文化を理解し価値観を尊重したうえで言語等を通して人を敬い傾聴する姿勢を身につけた者。
⑶保健・医療・福祉を総合的に捉え、良好な人間関係を構築するためのコミュニケーション能力を持ち地域及び他職種と協働・連携することができる者。
⑷将来に向けてのミッションを持ち、考えを広げ学び続ける意欲と課題解決をまとめプレゼンテーションできる能力を有する者。

■教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

歯科衛生学科では、広い教養と良識のある歯科衛生士を育成するための教育課程を編成し、歯科医療の高度化と多様なニーズに対応するための知識と技能を習得することを基本とし、以下に掲げる目標を達成するための教育を実施する。
⑴基礎分野教育課程を編成することで、良好な人間関係を構築するために科学的思考の基礎及び人間と生活に必要な教育課程を編成し、豊かな人間性とロジカルな思考プロセスを組み、言語を通してコミュニケーション力を養うための教養教育を実施する。
⑵専門基礎分野教育課程を編成することで、人体の構造と機能及び疾病の成り立ちと予防など基本的知識を習得するとともに健康に関わる社会の仕組みを理解するために必要な教育課程を編成し、基本的な専門基礎教育を実施する。
⑶専門分野教育課程を編成することで、口腔に関わるより専門的な知識と技術を習得するとともに、保健医療人としての基本的な態度・論理的思考に必要な教育課程を編成し全人的視点からの継続的な口腔衛生管理及び食支援ができる専門教育を実施する。
⑷選択必修分野教育課程を編成することで他職種と協働・連携の重要性を理解するために必要な教育課程を編成し、3年間のまとめとして健康教育での学びをプレゼンテーションする力を高める自主的な教育を実施する。

以上の方針の下、授業で学習する内容と授業外で学習する内容を結びつけて理解を深める教育を体系的に編成して実施し、獲得された学習成果を歯科衛生学科・学習成果査定の方針に基づいて客観的に評価する。

■入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

歯科衛生学科では、卒業認定・学位授与の方針にかなうために、①気持ちを共有することができる人、②話を聞くことができる人、③歯科衛生学を学ぶ意欲がある人、④協調性があり、協働できる人が求められる。そのため、すべての入学者選抜制度に共通して以下の準備ができている人を入学者として求めている。
⑴明朗活発で国際的にも見聞を広める意欲と人を敬い傾聴できる人。
⑵倫理観を身につけ他職種と協調性を持ち歯科医療を担うという職業的使命感を有する人。
⑶前向きな姿勢と自主性があり学習意欲のある人。
⑷専門職として学び続ける意欲があり、生命の尊さや喜びを感じることができる人。

以上の人材として、歯科衛生学科では、入学するまでに、次の教科・科目の内容や知識・技能を有していることが望まれる。

国語：読書の習慣を養い、文章から論理を読み取る読解力
数学：問題を解決していく過程での論理的な思考力
理科：自然現象に対する科学的な思考力・判断力
（化学基礎）化学反応と物質、イオン結合とイオン結晶
（生物基礎）生物の特徴、代謝、遺伝子情報、体内環境と恒常性
（物理基礎）電気・電子、原子・原子核など
地理歴史・公民：社会の動向を理解し、的確に対応する知識と教養
外国語：異文化理解、コミュニケーション力
情報：情報機器等を正しく活用する基礎力
芸術：感性や最後までやり遂げる力
保健体育：健康の保持増進と安全についての理解力

入学者の選抜にあたっては、入学者選抜制度に基づき、提出書類や面接等による試験を通じて「学校生活での活動や計画的な将来への目的意識」及び基礎学力検査や学力試験等を通じて「基礎学力、表現力」を総合的に評価し、上記の方針に適した人を選抜する。
入学者選抜の各制度では、特に以下の準備ができている人を重視して選抜を行う。

学校推薦型選抜入学試験（指定校制）：面接及び提出書類の評価を通して、学校生活での活動に対しての積極性や目的意識の高い人を選抜する。

総合型選抜入学試験A・B：大学入学希望理由書や面接及び提出書類の評価を通して、目的意識が高く、社会貢献に対しても意欲的な人を選抜する。

学校推薦型選抜入学試験（公募制）：国語、英語、化学基礎、生物基礎、数学Ⅰのいずれかによる基礎学力検査、面接及び提出書類の評価を通して、必要な思考力や判断力及び学習意欲を有する人を選抜する。

一般選抜入学試験A：国語、英語、化学基礎、生物基礎、数学Ⅰのいずれかによる学力試験、面接及び提出書類の評価を通して、必要な学力及び目的意識のある人を選抜する。

一般選抜入学試験B：小論文や面接及び提出書類の評価を通して、思考力及び表現力を有する人を選抜する。

社会人入学試験：小論文や面接及び提出書類の評価を通して、社会情勢に関心をもち、主体性のある人を選抜する。

外国人留学生入学試験：作文や面接及び提出書類の評価を通して、歯科衛生士に対する理解と日本語の読解力及び学習意欲のある人を選抜する。

■学習成果査定の方針（アセスメント・ポリシー）

高知学園短期大学歯科衛生学科（以下「本学科」という。）では、卒業認定・学位授与、教育課程編成・実施、入学者受け入れの三つの方針に基づき、機関レベル（短期大学）・教育課程レベル（専攻）・科目レベル（授業科目）の3段階で学習成果を査定する方法を定めている。あわせて、三つの方針の一貫性を確保する。

⑴機関レベル
学生の志望進路（就職率、免許を活かした専門職への就業率及び進学率等）及び国家試験の結果から学習成果の達成状況を査定する。

⑵教育課程レベル
所定の教育課程における卒業要件達成状況（単位修得状況、GPA）と教育課程全体を通した学習成果の達成状況を査定する。また、学年ごとの単位取得率・成績状況から、①倫理観を含む学士力における知識・理解については1年次の基礎分野と専門基礎分野を中心②協働・連携に関わる汎用的技能と態度・志向性及び活用と実践については特に2年次の専門基礎分野と専門分野③口腔衛生管理・支援及びプレゼンテーション力に関わる総合的学習・創造的思考については3年次専門分野と選択必修分野の獲得状況を学習成果として査定する。

⑶科目レベル
シラバスで提示された授業科目の授業目的及び到達目標に対する評価、及び学生の授業アンケートの結果から、科目ごとの学習成果の達成状況を査定する。査定にあたっては、授業の過程における課題（小テスト、レポート、発表、作品）の評価は適切にフィードバックを行い、チェックして学生が理解を深めていくことを心がけてルーブリックで学習成果を査定する。授業終了後には最終のテスト及び授業アンケートの結果で学習の達成状況を査定する。

看護学科の学習成果と方針

■学習成果

看護学科では、人々の健康と生活の質の向上に貢献できる看護専門職者となるため、所定の教育課程を修了することで、次に掲げる能力を獲得する。
⑴専門的知識・技術を用いて対象の全体像を捉え、根拠に基づいた看護を展開することができる。
⑵看護の対象と適切な援助関係を築き、人々の尊厳と権利を尊重した看護を提供することができる。
⑶他者との協働関係を築き、自己の役割を果たすことができる。
⑷広く社会の情勢を知り、主体的・継続的に学習に取り組むことができる。

■卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

看護学科では、学科所定の単位数を修得するとともに、次の要件を満たすと認められた者に短期大学士（看護学）の学位を授与する。
⑴看護の専門的知識・技術を習得し、対象を包括的に捉え、根拠に基づいた看護を実践する能力を有している。
⑵豊かな人間性と倫理観をもち、対象を尊重した看護を実践する能力を有している。
⑶対象の健康課題解決のために、他者との協働関係を構築し、チームの中で自己の役割を果たすことができる能力を有している。
⑷より良い看護を実践するために深く思考し、探究し続ける能力を有している。

■教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

看護学科では、豊かな人間性と倫理観を備え、人々の健康と生活の質の向上に貢献できる看護専門職者を養成するため、以下の方針に基づいて『教養・基礎分野』、『専門基礎分野』、『専門分野』の3つの区分を柱とした教育課程を編成する。
⑴『教養・基礎分野』では、豊かな人間性を育み、看護学の基盤となる様々な学問領域における知識や教養を身につけるための教育課程を編成する。
◉「豊かな人間性の探求」では、人々の生活や文化を理解するとともに、自らの感性を磨きつつ、キャリアについて考えを深めるための科目をおく。
◉「科学的思考の基盤」では、急速に発展する医療・看護に対応するための情報通信技術を活用することができる能力を養うための科目をおく。
◉「人間と生活・社会の理解」では、互いに関係性を築き、多職種と協働しながら看護を提供することができる能力を養うための科目をおく。
⑵『専門基礎分野』では、「人体の構造と機能」、「疾病の成り立ちと回復の促進」「健康支援と社会保障制度」について学び、個人、家族、地域社会それぞれの健康レベルに合わせ、根拠に基づいた看護を提供するための教育課程を編成する。
⑶『専門分野』では、より専門性の高い知識と技術を学び、演習や実習を通して、それぞれの領域において対象となる人々に必要な看護を提供するための教育課程を編成する。
◉1年次より、看護の対象者が地域の生活者であるという視点を持つことができるよう「基礎看護学」の次に「地域・在宅看護論」を配置する。
◉各専門領域では、学生自らが主体的に学び、対象への看護について深く思考する能力を獲得するために、グループワーク・ロールプレイング・シミュレーションなどを取り入れた授業を実施する。
◉「看護の統合と実践」では、既習の知識や技術と体験を繋ぎ合わせ、対象に必要な看護を提供するために課題を探究・考察することができ、自身の看護観を深めることができる教育内容とする。

高知学園短期大学が定める学習成果と方針

⑷すべての講義・演習・実習を体験しながら、コミュニケーション能力や他者と協働する力・倫理観を育むことができるよう、領域横断的・継続的な教育内容とする。

以上の方針の下、獲得された学習成果を看護学科・学習成果査定の方針に基づいて客観的に評価する。

■入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

看護学科では、豊かな人間性と倫理観に基づき、看護の知識や技術を活用して自ら判断し行動できる看護専門職者の養成を目指しており、卒業認定・学位授与の方針を達成するために、すべての入学者選抜制度に共通して以下の準備ができている人を入学者として求めている。

⑴他者及び自己のこころと身体の健康、生活に関心がある人。
⑵看護学を学ぶために必要な基礎学力を有する人。
⑶主体的に学ぶ意欲と態度、習慣を備えている人。
⑷自らの考えを他者にわかりやすく表現する力のある人。
⑸コミュニケーションを大切にし、他者と協力できる人。

以上の人材として、本学科では入学するまでに次の教科・科目の知識・技能を有している人が望まれる。

国語：基礎的な日本語の文章の読解力、相手の話を聴く力、相手に伝わる表現力
数学：論理的な思考力、看護に必要な課題達成のための数的な処理能力
理科：人間の身体の構造や仕組みを理解し、看護を実践するために必要な基礎的な科学の知識
地理歴史・公民：個人を取り巻く社会の状況、仕組みを理解し、社会の変化を読み解くための基礎知識
英語：看護に必要な英語を学ぶための基礎的な読解力と表現力、異文化理解
情報：情報モラルを身に付け、必要な情報を収集・整理・活用できる能力
保健体育：健康について多面的な側面から考えることができる基礎知識、健康で安全に生活するための知識・技能

入学者の選抜にあたっては、入学者選抜制度に基づき、提出書類や面接、小論文、基礎学力検査や学力試験等を通して、看護への関心をもち、明確な目標をもって計画的かつ継続的に学ぶ意欲と態度を有すること、看護を学ぶために必要な基礎知識や論理的な思考力、表現力を備えていることを総合的に評価し、上記の方針に適した人を選抜する。

入学者選抜の各制度では、特に以下の準備ができている人を重視して選抜を行う。

学校推薦型選抜入学試験（指定校制）：面接、提出書類の評価を通して、模範的な学校生活を送り、幅広い学力と表現力、社会性を備え、看護への適性を高めるよう意欲的かつ継続的に努力することができる人を選抜する。

総合型選抜入学試験A・B：大学入学希望理由書、面接、提出書類の評価を通して、人々の健康と生活に関心をもち、看護の専門性を活かして社会に貢献する意欲と目標をもって、主体的に学習に取り組むことができる人を選抜する。

学校推薦型選抜入学試験（公募制）：国語・英語・化学基礎・生物基礎・数学Ⅰのいずれかによる基礎学力検査、面接、提出書類の評価を通して、意欲的に学校生活を送り、社会性と看護学を学ぶために必要な基礎学力を有する人を選抜する。

一般選抜入学試験A：国語・英語・化学基礎・生物基礎・数学Ⅰのいずれか1科目及び小論文による学力試験、面接、提出書類の評価を通して、看護学を学ぶために十分な学力と社会性を備え、論理的思考力と豊かな表現力を有する人を選抜する。

一般選抜入学試験B：小論文、面接、提出書類の評価を通して、社会への関心と幅広い学力、論理的思考力と豊かな表現力を有する人を選抜する。

社会人入学試験：小論文、面接、提出書類の評価を通して、看護に対する高い関心を有し、一定の学力と社会における経験を有意義に活用して、他の学生の模範となって学び続ける意欲を備えている人を選抜する。

外国人留学生入学試験：作文、面接、提出書類の評価を通して、看護学科での授業や演習、実習に参加できるだけの日本語による日常会話力、読解力、記述力を備え、看護を通じて母国と日本の発展に貢献しようとする意欲を有する人を選抜する。

■学習成果査定の方針（アセスメント・ポリシー）

高知学園短期大学看護学科（以下「本学科」という。）では、卒業認定・学位授与、教育課程編成・実施、入学者受け入れの三つの方針に基づき、機関レベル（短期大学）・教育課程レベル（学科）・科目レベル（授業科目）の3段階で学習成果を査定する方法を定めている。あわせて、三つの方針の一貫性を確保する。

⑴機関レベル
学生の進路決定状況（就職率、免許・資格を活用した専門分野への就業率及び進学率等）及び国家試験合格状況、卒業後の第三者評価の聴取などから学習成果の達成状況を査定する。

⑵教育課程レベル
本学科の所定の教育課程における看護師免許の取得状況、卒業要件達成状況（単位修得状況、GPA）から教育課程全体を通した学習成果の達成状況を査定する。①専門的知識・技術の獲得と根拠に基づいた看護の展開については「専門基礎分野」「専門分野」の試験及びレポート、発表、実技等で査定する。②対象との関係性の構築及び倫理観の獲得については、臨地実習における態度、情報リテラシー、患者との関係性構築、倫理に関する学びの発表や実習記録等で査定する。③他者との協働関係構築については、講義・演習におけるグループ活動への臨み方、臨地実習におけるチームでのコミュニケーションスキル、論理的思考力、問題解決力などを、実習態度、実習記録やカンファレンス、個人面談等で査定する。④主体的・継続的な学習への取り組みについては、講義・演習・実習に対する姿勢、単位履修状況、学びのレポート、発表、実習記録等で査定する。また、汎用的能力については、ポートフォリオによる評価を3年間継続的に行う。
教職課程においては、教職課程選択者数及びその推移、養護教諭二種の免許の取得状況（単位修得状況、GPA）から、教職課程における学習成果の達成状況を査定する。

⑶科目レベル
学習成果の査定は、診断的評価、形成的評価、総括的評価を組み合わせて実施する。診断的評価として、事前課題の内容や小テストをもとに、授業に臨む学生の理解度を査定する。形成的評価として、課題(小テストやレポート、発表、リフレクションシート等)を通して、学生の理解力、思考力、表現力を把握し、その結果を早期にフィードバックしながら学習成果の達成状況を査定する。さらに総括的評価として、シラバスに提示された授業科目の到達目標に対する評価や学生の授業アンケートの結果をもとに、科目毎の学習成果の達成状況を査定する。なお、査定にあたっては、「看護学科カリキュラム・マップ」を参考にする。

専攻科地域看護学専攻の学習成果と方針

■教育目的

平和と友愛の精神を基盤に、修得してきた看護師の専門的知識と技術をもとに、公衆衛生看護学の知識体系を学修する。そして、広い視野と洞察力、豊かな創造性をもって他者と協働し、個人・家族・集団・組織からなる地域社会全体の健康レベルと生活の質の向上のために貢献できる看護専門職者を養成する。さらに、研究活動や看護実践を通して倫理的感受性を高めるとともに、課題発見力や論理的な思考力、表現力といった看護学の発展に寄与するための能力を養う。

■学習成果

専攻科地域看護学専攻では、教育目的に基づき、学習成果を以下の通りに定める。

⑴修得してきた看護学と公衆衛生看護学の知識・技術を用いて個人や家族、集団、地域を統合的に理解し、量的質的データに基づき、対象の健康課題を明確にできる。
⑵健康課題の解決のために対象や地域住民、関係機関とのパートナーシップのもとに必要な支援を導き出すことができる。
⑶社会の動向や公的機関の役割を理解し、地域診断に基づいて先を見通し、問題解決のために新たな方策を創造することができる。
⑷他者との協働関係のもと、根拠と説得力をもって自身の考えを伝え、リーダーシップを発揮することができる。
⑸対象のもつ権利を擁護する看護専門職者としての役割を意識し、倫理的な問題に対して、多面的に物事を捉え、状況に応じた最善策を見い出すことができる。
⑹看護に関する自らの疑問や健康に関連する事柄についてデータを収集し、科学的な根拠に基づいて論理的に分析することができる。

■卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

専攻科地域看護学専攻では、地域で生活している人々の健康増進を目指すとともに地域社会全体の健康水準の向上に貢献できる看護専門職者として活躍できるよう、以下に示す知識と技能、態度を習得した者に課程修了を認定する。加えて独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が定める要件を満たした者には、学士（看護学）の学位を授与する。

⑴人々の生活と健康に関する解剖生理学的知識や行動心理学的知識、公衆衛生看護学の知識を基盤に、多様な背景をもつ対象者の主体性や価値観を尊重して信頼関係を築き、健康的なより良い生活に導くための支援ができる力を有する。
⑵国や地方自治体が掲げる健康施策の理解と将来的な予測に基づき、地域の健康課題を明確にし、他者と連携・協働しながら組織的に課題を解決するための企画力や調整力、分析力、リーダーシップを有する。
⑶地域の中にある倫理的な問題に対して、看護専門職者として権利擁護の視点から考え、常に自身の行動を振り返って考えることができる力を有する。
⑷自らの疑問や看護上の課題に対する探究を通して、論理的思考力や表現力を高め、看護の質の向上に向けて主体的に活動できる力を有する。

■教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

専攻科地域看護学専攻では、教育目的に示した保健師と養護教諭一種（養護教諭二種免許状取得者のみ）を養成するため、以下の方針に基づいて、公衆衛生看護に関する基本的知識を、講義、演習、実習と段階的・系統的に応用し、実践力を獲得できるよう教育課程を編成し、実施する。

⑴公衆衛生看護学概論を基盤に、対象理解とアセスメント、家庭訪問、健康相談、健康教育、保健計画、地域組織活動、対象に応じた保健指導といった公衆衛生看護活動を展開できる専門科目を設定し、保健師としての基本的な知識と技術を習得するための教育を実施する。
⑵行政機関の役割を理解し、多様な側面から地域の健康課題を明確にし、健康的な生活に向けて支援を検討することができる視点を養えるよう、保健医療福祉行政や統計に関する専門科目を設定し、根拠に基づき施策立案・事業化ができる行政職としての知識と技術を習得するための教育を実施する。
⑶既修得科目を統合して、対象や地域の状況に合わせた公衆衛生看護活動を実践する力を養えるよう、臨地実習の前後で学ぶ専門科目を設定し、行政の保健師の役割と公衆衛生看護活動における倫理について理解を深めるための教育を実施する。
⑷公衆衛生看護の知識と理論を活かした保健師活動が実践できるよう、臨地における実習を設定し、指導を受けながら公衆衛生看護活動を具体的に理解し、倫理的な視点をもち、人々と協働して看護が実践できるための教育を実施する。
⑸国際化・情報化社会に対応する外国語及び情報処理の知識や論理的思考力、表現力などの学士力を身につけるための科目を設定し、看護専門職者として自律し主体的に活動できる力を強化するための教育を実施する。

上記⑴～⑸の方針のもと、獲得された学習成果を専攻科地域看護学専攻・学習成果査定の方針に基づいて客観的に評価する。

■入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

専攻科地域看護学専攻では、卒業認定・学位授与の方針を達成するために、以下の人を入学者として求めている。

⑴個人・家族・集団・組織・地域の健康状態を分析し健康課題の発見に主体的に取り組める人
⑵個人・家族・集団・組織・地域の健康課題の解決に向けて熱心に取り組める人
⑶健康課題の解決に向けて他者とともに協力して取り組める人

そのため、以下の準備が出来ている人を入学者として求めている。

①看護学の基礎的な知識と技術をもち、地域で生活する人々や地域全体の健康に関心をもっている人
②論理的な思考力や表現力を備え、人々の健康や看護に関する課題について探究する意欲のある人
③人々と協力しながら、理想に向かって主体的に学び続ける意欲のある人

以上の人材として、入学するまでに次の分野の知識や技能、態度を有している人が望まれる。

基礎分野：人間と社会の仕組みを理解する幅広い視野と、科学的思考力及びコミュニケーション力、主体的な判断と行動力、情報通信技術（ICT）が活用できる基礎的能力
専門基礎分野：看護実践の基盤となる知識及び臨床判断能力、社会資源を活用するための知識と基礎的な能力、主体的な学習態度
専門分野：看護学全般の知識、専門基礎分野での学びを基盤とする看護実践能力、看護の知識と実践を結びつける論理的思考力、倫理的判断力、他者と協働する力と協調性、表現力、既修得科目の知識を用いて粘り強く看護実践を行うための意欲と洞察力

入学者選抜にあたっては、特別入試では看護学科において履修した科目の成績から看護学全般に対する知識や技術の習得状況を把握する。また、小論文試験と面接により、論理的な思考力や表現力、地域全体の健康への関心度、協調性、主体的に学び続ける意欲等について把握し評価する。

また、本学看護学科卒業以外の学生へも門戸を広げ、多様な背景をもつ学生同士が刺激しあいながら共に学べるよう一般入試を設定する。一般入試では、学力試験と小論文試験、面接を行い、看護学の基礎的な知識、論理的な思考力、表現力、地域で生活する人々や地域全体の健康への関心度、協調性、主体的に学び続ける意欲等について把握し評価する。

■学習成果査定の方針（アセスメント・ポリシー）

専攻科地域看護学専攻では、卒業認定・学位授与、教育課程編成・実施、入学者受け入れの三つの方針に基づき、機関レベル（短期大学）・教育課程レベル（専攻）・科目レベル（授業科目）の3段階で学習成果を査定する方法を定めている。あわせて、三つの方針の一貫性を確保する。

⑴機関レベル
学生の進路決定状況（就職率、免許・資格を活用した専門分野への就職率、及び進学率等）及び保健師国家試験合格状況から学習成果の達成状況を査定する。

⑵教育課程レベル
本専攻の所定の教育課程における保健師免許の取得状況、修了要件達成状況（単位修得状況、GPA）、学習活動や社会活動への取り組み状況から教育課程全体を通した学習成果の達成状況を査定する。また、学生の学習成果の達成状況については、修了研究によって、論理的思考力や問題解決力といった汎用的技能及び倫理観等の学士力の獲得状況を論文やプレゼンテーション等により査定する。そして、試験やレポート、プレゼンテーション等を基にした単位修得・成績分布の状況から、講義・演習を通して、公衆衛生看護学の知識や技能の習得度、社会情勢の変化に対応できる論理的な思考力と判断力、情報リテラシー等の汎用的能力と地域の健康課題の解決に向けて考え抜く力の獲得状況を査定する。さらに、臨地実習やフィールドワーク、社会活動を通してこれまでの看護師教育の学びを統合し、地域における倫理的な問題にも向き合い、他者との協働のもとに看護を展開できる人間関係形成能力と主体的に活動できる力、及び創造的思考力の獲得状況をレポートや実習記録、カンファレンスの内容等によって査定する。さらに１年間を通じて、学生の学習成果の達成状況についてポートフォリオを用いて経時的に評価するとともに、リフレクションシートを活用し、１年間の成長過程を評価する。

教職課程においては、教職課程選択者数及びその推移、養護教諭一種の免許の取得状況及び免許取得要件達成状況（単位修得状況、GPA）から、教職課程における学習成果の達成状況を査定する。

⑶科目レベル
本専攻では、診断的評価、形成的評価、総括的評価を組み合わせて実施し、学習成果を査定する。まずは、診断的評価として看護学科等におけるカリキュラムの特徴や学習成果の達成状況を、年度初めに実施する個人面談やリフレクションシート、ポートフォリオ等で把握し、授業に臨む学生の傾向や看護学に対する理解度を確認する。次に形成的評価として、小テストやリフレクションシート、プレゼンテーション等によって単元毎の学生の理解度を把握するとともに、その結果は早期に学生にフィードバックをしながら、単元毎もしくは定期的に学習成果の達成状況を査定する。

さらに、総括的評価として、シラバスで提示された授業科目の到達目標に対して、小テストやリフレクションシート、試験結果及び学生の授業アンケートの結果を用いて、科目毎に学生の学習成果の達成状況を査定する。また、修了研究においては論文作成やプレゼンテーション等の研究活動の全過程における評価基準としてルーブリックを定め、客観的に学習成果の達成状況を査定する。なお、査定にあたっては、専攻科地域看護学専攻カリキュラム・マップを参考にする。